

# ヒアリ・アカカミアリにご注意ください！

## ヒアリ・アカカミアリとは

### 【ヒアリ】

- 原産地：南米
- 分布：米国、中米の大西洋諸国、オーストラリア、ニュージーランド、中国、台湾、マレーシア等
- 体長：2.5 mm～6.0 mm
- 体色：赤茶色。腹部は濃い赤色で黒っぽく見える
- 生態：極めて攻撃的で小型哺乳類をも集団で攻撃し捕食する他、鳥類の営巣、雛の生育への影響例がある
- 影響：人体や生態系への影響、農畜産業等の経済被害等
- アリ塚：直径 25 cm～60 cm、高さ 15 cm～最大 90 cm程度の土で作られたドーム状のアリ塚を作る（日本在来のアリで土の大きなアリ塚を作る種はいない）



神戸市ポートアイランドで発見されたヒアリ  
出典：兵庫県立人と自然の博物館ホームページ



大阪府南港で発見されたアカカミアリ  
出典：兵庫県立人と自然の博物館ホームページ

### 【アカカミアリ】

- 原産地：米国南部から中南米
- 分布：フィリピンや台湾のほか、国内では硫黄島で定着しており、沖縄本島や伊江島でも確認例がある
- 体長：3.0 mm～8.0 mm
- 体色：赤茶色で頭部はやや黒みを帯びた濃い茶色
- 生態：攻撃性が高く、小型節足動物などを補食し、硫黄島では他のアリ類を駆逐し、最優占種となっている
- 影響：人体や生態系への影響、農畜産業被害等

## ヒアリ・アカカミアリの見分け方（他のアリとの違い）

目視での確認ポイントとして、次のいずれかに該当する場合は、ヒアリ・アカカミアリではありません。

- ① 黒いアリ（ヒアリ・アカカミアリは赤茶色）
- ② 2.5 mm以下の小さいアリ、8mmを超える大きなアリ
- ③ 大きさに連続的変異のないもの  
（集団内での個体の大きさが均一で揃っている）
- ④ 足が8本ある（アリは6本）
- ⑤ 胸部と腹部との間に2節のコブがない（写真丸囲み箇所）



ヒアリ・アカカミアリは集団内で  
大小さまざまなサイズが混在  
出展：ストップ・ザ・ヒアリ

特に③～⑤をご確認ください。なお、現時点で環境省へ個体確認送付があった中からは、ヒアリ・アカカミアリは見つかっておりません。

ヒアリ・アカカミアリと疑われるアリを見つけた際の対応方法は裏面をご覧ください

## ヒアリ・アカカミアリと疑われるアリを見つけたら

### 【数匹の場合→殺虫処理】

ヒアリ・アカカミアリと疑われるアリを見つけたら、刺されないように十分注意したうえで、熱湯や市販の殺虫剤・殺虫液等を使用して殺虫してください。

※ ヒアリ・アカカミアリか否か確認するために・・・

専門機関での種の同定作業が必要となるため、アリが確実に死滅したことを確認し、①死滅したアリをセロテープに閉じ込めるように貼り付ける、②ピンセット等でつまんで小瓶やフィルムケース等の密閉容器に入れて保存し、下記問合せ先に郵送してください。



セロテープで周囲を囲むように接着する  
出典：ストップ・ザ・ヒアリ

### 【集団や巣を見つけた場合→近づかず通報】

ヒアリ・アカカミアリの集団や巣を見つけた場合は、一斉に襲ってくる恐れがあるため、アリを刺激（踏みつける、巣を壊す等）せず、下記問合せ先に連絡してください。

## 駆除方法（中長期的な防除を含む）

（ベイト剤は在来アリ等を含む大量のアリを駆除します。これらがいなくなればヒアリ等の競争相手がいなくなってしまう、かえってヒアリ等の外来生物が定着しやすい環境を作ってしまうため、ベイト剤はヒアリ等が見つかった場合のみに活用してください。）

### 【熱湯、殺虫剤・殺虫液】

熱湯や市販の殺虫剤・殺虫液を直接かけることにより死滅させることができます。殺虫液は液剤に接触したアリが巣内で他のアリに触れても駆除効果があります。

### 【ベイト剤（毒餌）】

顆粒やゼリー状のベイト剤（毒餌）をアリの行列内や巣の周辺に設置し、働きアリが駆除剤を巣に持ち帰ることにより、巣の内部まで駆除が可能です。薬剤は随時追加・交換します。

### 【捕獲トラップ】

巣のあった場所の近く等に捕獲トラップを設置し、集まったアリを採取します。種類や数を確認して継続したモニタリングを行い、ヒアリ・アカカミアリが根絶したか確認します。

## 注意点・刺された場合の対処法

- 刺される可能性があるため、ヒアリ・アカカミアリには触らないようにしてください
- 在来のアリにもヒアリ・アカカミアリに似ている種が存在するため、アリが群がっているところには近づかないようにしてください
- 刺された場合は、直後 20～30 分程度安静にし、体調の変化がないか注意してください
- 軽度の場合は、刺された部分の痛みやかゆみ、じんましん等の症状が現れます
- 息苦しさ、声がれ、激しい動悸やめまい等、容態が急変した場合は、毒に対するアレルギー反応（アナフィラキシー）の可能性が高いため、急いで最寄りの医療機関を受診してください

### 【問合せ先】

〒540-6591 大阪府大阪市中央区大手前 1-7-31 OMM 8F  
環境省近畿地方環境事務所野生生物課 電話：06-4792-0706

〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通 5 丁目 10 番 1 号  
兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課 電話：078-362-3389